第 181 回 誘電絶縁材料技術委員会議事録
日時：2006 年 3 月 2 日（木）、10:00-12:00
場所：電気学会会議室（第会議室）

出席者（順不同、敬称略）：岡本委員長（電中研）、
幹事：内田（中部電力）、田中（武蔵工大）
委員：高橋（VISCAS）、清水（東芝）、加藤（新潟大）、田中（早大）、岡本（富士電機）、武藤（三菱電機）、福永（通総研）、本間（電中研）、穂積（豊橋技科大）、山野（千葉大）
幹事補：西川（芝工大）
オブザーバー：高橋（電中研）

資料：
番号なし　　第 180 回議事録誘電絶縁材料技術委員会議事録（案）
181-1　第 67 回研究調査運営委員会議事録報告
181-2　第１回イオンマイグレーションの発生特性と防止方法調査専門委員会議事録
181-3　第８，９回ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会
181-4　電気学会　情報通信のための誘電絶縁材料委員会　第８回資料
181-5　高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会（仮）設置趣意書（案）
181-6　平成 18 年度　誘電・絶縁材料研究会、技術委員会、その他行事予定（１次案）
調査専門委員会フォローシート（2006 年度計画）
181-7　平成 18 年度電気学会東京支部連合研究会開催ご協力のお願い
181-8　平成 17 年度優秀論文発表賞報告
181-9　電気学会誘電絶縁材料技術委員会学術貢献賞（犬石、家田賞）および技術貢献賞（矢作賞）表彰委員会委員の交代（案）
181-10　ISEIM 会議管理委員会設立趣意書
181-11　第１回ナノコンポジット誘電体の界面現象と応用技術調査専門　設置趣意書
181-12　第１回ナノコンポジット誘電体の界面現象と応用技術調査専門議事録

議事：
１．西川幹事補が読み上げ、一部字句の訂正の後、承認された。
・卓越技術 DB は提出済み（田中幹事）
・見学会（５月）希望を募る（内田幹事）、前年度見学地：電中研、日大、万博、理研ゲノム

２．第 67 回研究調査運営委員会議事録報告
岡本委員長より下記の報告がなされた。
・調査専門委員会報告のうち、発行後４年間経て廃棄処分用残部５部を希望者に配布（有機薄膜関係）
・　研究会開催時の会場費・アルバイト代は１日１万円まで認められているのでご利用頂きたい。
・　各技術委員会に対し査読者候補選定のためのアソシエイト・エディタ制度を２～３名選任依頼。
・　過去の A 部門活動資金報告（2004 絶縁シンポジウム他）で未報告分あり。

・ A 部門大会について、大韓電気学会C部門との連携の申し入れがある。技術委員会として積極的な連携は進めないが、テーマ付きセッションとして予定されているナノコンポジットを提案する。その他、希望テーマがあれば御提案頂く。

３．資料 181-2,3,4 について

調査専門委員会議事録および資料である。以下の報告がなされた。

・山野委員より、イオンマイグレーションの発生特性と防止方法調査専門委員会報告とマイグレーション単行本出版について報告がなされた。

・ 加藤委員より、ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会について報告がなされた。

・ 福永委員より、技術報告書のまとめに関して説明がなされた。

４．資料 181-5 について

新規調査専門委員会設置趣意書案（高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会（仮））について、田中幹事より説明がなされた。メンバー構成を検討中であり、メーカからの委員をさらに増員予定であり、技術委員会関係のメンバーに紹介依頼する。2 年間でシーズを洗い出すことを目標とする等の説明がなされた。

・ 三菱電機より委員を出せる可能性有り。

・ 5/19 日の運営委員会へ提出するために、一般公募書式を提出する。

・ 委員の電気学会会員 50%比率に留意していただく。

５．資料 181-6 について

H18 年度研究会、技術委員会、その他行事予定（１次案）であり、田中幹事より説明がなされた。

・ 6 月研究会については、ポリマーがいし（本間委員）は設置が間もなく、１年後が望ましい。適当な委員会はない。

・ 7 月研究会テーマ：トリー・トラッキング、絶縁一般（秋田大、八戸工大）で委員長より依頼する。

・ A 部門大会として、テーマ：ナノコンポジットで大韓電気学会へ開催呼びかける。

・ 東京支部（資料 181-7）への依頼に対して、情報通信関連は、電力線通信のテーマで検討し（福永委員）、プリント基板（山野委員）と合同で開催する方向で調整する。

６．資料 181-6 について

調査専門委員会フォローシートである。田中幹事より説明がなされた。

７．資料 181-11,12 について

ナノコンポジット誘電体の界面現象と応用技術調査専門設置趣意書および第１回議事録である。第１回委員会開催について田中委員から説明がなされた。今後、ナノコンポジットの材料としての共通理念、理論を検討したい。成果として、本を出版する方向で検討を進める、などの報告がなされた。

８．資料 181-8 について

西川幹事補より優秀論文発表賞候補者リストについて説明がなされた。委員長より、バランスを考慮して、１位および３位の２名推薦したとの報告がなされた。

９．資料 181-9 について

内田幹事より説明がなされた。表彰委員会の３名の委員交代（案）が示され、承認された。

１０．資料 181-10 について

岡本委員長より説明がなされた。ISEIM 会議管理委員会設立趣意書である。ISEIM2005 の余剰金の管理と次期組織委員会設立時にその資金を活用するための管理委員会であり、承認された。

１１．委員構成について

本委員会の委員構成の変更等について委員長より説明がなされた。

・１号委員の材料関係委員として菱川氏（ハンツマン・アドバンストマテリアル）に承諾を得たので、委員就任を承認した。

その他、2006/4/1 以降より幹事団の交代として、以下の件が承認された。

・委員長交代：岡本委員長→穂積氏（現２号委員）

・幹事補：西川（芝工大）→高橋俊裕氏（電中研）

１２．次回開催日

2006/5/22 開催予定。場所、未定。見学会を併せて開催。

以上。